

## 4 日常生活圏域ごとの高齢者等の現状と推計

### (1) 日常生活圏域ごとの人口の推移と推計

日常生活圏域ごとの人口は減少傾向にあります。北部圏域については、宅地開発が進められている地域があり、平成27年までは若干増加していましたが、平成28年に減少し、平成29年は再び増加しました。

平成30年以降は、各圏域において徐々に減少すると予測されます。

日常生活圏域ごとの人口の推移

[人]

区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
西部	21,280	20,988	20,598	20,391	20,011	19,474	19,029	18,698	18,204
中央部第1	27,624	27,117	26,660	26,241	25,709	25,141	24,730	24,250	23,902
中央部第2	29,825	29,520	29,295	28,979	29,012	28,729	28,332	27,952	27,493
東央部第1	32,887	32,454	32,090	31,884	31,568	31,235	30,835	30,550	30,159
東央部第2	28,368	28,148	27,756	27,220	26,711	26,275	25,749	25,379	25,007
北東部第1	24,622	24,364	24,051	23,956	23,769	23,541	23,382	23,233	22,837
北東部第2	37,087	37,004	36,974	36,789	36,582	36,585	36,400	36,383	36,456
北東部第3	35,445	35,148	34,912	34,573	34,395	34,020	33,752	33,418	33,056
北部	33,002	33,309	33,567	33,736	33,811	33,993	34,119	33,949	34,029
東部	15,225	14,840	14,408	13,956	13,571	13,153	12,751	12,327	11,958

\* 住民基本台帳を基に作成（各年9月末日現在。）

\* 平成21～23年は外国人登録を含む

日常生活圏域ごとの人口の推計

[人]

区分	実績	推計					
	平成29年 (A)	平成30年	平成31年	平成32年 (B)	対平成29年比 (B-A)/A	平成37年 (C)	対平成29年比 (C-A)/A
全市	263,101	259,823	256,443	252,970	-3.9%	234,437	-10.9%
西部	18,204	17,765	17,323	16,877	-7.3%	14,639	-19.6%
中央部第1	23,902	23,422	22,934	22,450	-6.1%	19,988	-16.4%
中央部第2	27,493	27,156	26,811	26,453	-3.8%	24,561	-10.7%
東央部第1	30,159	29,756	29,331	28,914	-4.1%	26,710	-11.4%
東央部第2	25,007	24,527	24,039	23,550	-5.8%	21,025	-15.9%
北東部第1	22,837	22,594	22,339	22,060	-3.4%	20,519	-10.2%
北東部第2	36,456	36,326	36,174	36,006	-1.2%	34,855	-4.4%
北東部第3	33,056	32,682	32,294	31,878	-3.6%	29,562	-10.6%
北部	34,029	34,019	33,997	33,956	-0.2%	33,540	-1.4%
東部	11,958	11,576	11,201	10,826	-9.5%	9,038	-24.4%

\* 住民基本台帳（平成24～29年の各年9月末日現在）の人口（外国人登録を含む）を基に推計した。

\* 圏域ごとの推計人口は、全市と同様の推計方法により圏域ごとに推計した後、圏域ごとの推計人口の構成比に基づき全市の推計人口を按分して求めた。

## (2) 日常生活圏域ごとの高齢者数の推移と推計

日常生活圏域ごとの高齢者数は、平成27年に圏域の見直しを行ったことにより、東部圏域を除く旧市内9圏域が概ね1万人程度以下に平準化され、圏域間における大きな差はなくなりました。

圏域ごとの推移は、平成24年以降はすべての圏域が増加傾向となっています。

平成30年以降は、平成32年に西部圏域、中央部第1圏域および東部圏域では、平成29年と比べ減少すると予測されますが、その他の圏域では増加となっています。

しかし、平成37年には、北東部第2圏域、北東部第3圏域および北部圏域以外の圏域は平成29年と比べ減少すると予測されます。

日常生活圏域ごとの高齢者数の推移

区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
西部	7,314	7,332	7,233	7,370	7,481	7,566	7,602	7,717	7,743
中央部第1	8,616	8,524	8,479	8,568	8,634	8,706	8,768	8,849	8,865
中央部第2	7,936	7,959	8,030	8,237	8,410	8,674	8,871	8,969	9,014
東中央部第1	9,575	9,525	9,557	9,814	10,073	10,321	10,560	10,706	10,881
東中央部第2	7,915	8,122	8,243	8,477	8,751	9,019	9,295	9,509	9,634
北東部第1	6,380	6,444	6,498	6,719	6,907	7,160	7,312	7,436	7,452
北東部第2	7,639	7,791	7,992	8,299	8,650	9,155	9,495	9,798	10,106
北東部第3	8,153	8,292	8,414	8,831	9,267	9,706	10,173	10,474	10,726
北部	7,141	7,270	7,378	7,645	7,931	8,246	8,554	8,790	9,050
東部	5,099	5,024	4,970	4,926	4,969	5,029	5,091	5,141	5,164

\* 住民基本台帳を基に作成（各年9月末日現在。）

\* 平成21～23年は外国人登録を含む

日常生活圏域ごとの高齢者数の推計

区分	実績		推計				
	平成29年 (A)	平成30年	平成31年	平成32年		平成37年	
				(B)	対平成29年比 (B-A)/A	(C)	対平成29年比 (C-A)/A
全市	88,635	89,375	89,705	89,707	1.2%	87,121	-1.7%
西部	7,743	7,699	7,590	7,494	-3.2%	6,762	-12.7%
中央部第1	8,865	8,803	8,721	8,583	-3.2%	7,725	-12.9%
中央部第2	9,014	9,068	9,127	9,136	1.4%	9,005	-0.1%
東中央部第1	10,881	10,973	10,974	10,958	0.7%	10,574	-2.8%
東中央部第2	9,634	9,694	9,705	9,706	0.7%	9,197	-4.5%
北東部第1	7,452	7,521	7,519	7,507	0.7%	7,246	-2.8%
北東部第2	10,106	10,303	10,464	10,610	5.0%	10,949	8.3%
北東部第3	10,726	10,936	11,058	11,137	3.8%	11,252	4.9%
北部	9,050	9,211	9,379	9,463	4.6%	9,700	7.2%
東部	5,164	5,167	5,168	5,113	-1.0%	4,711	-8.8%

\* 住民基本台帳（平成24～29年の各年9月末日現在）の人口（外国人登録を含む）を基に推計した。

\* 圏域ごとの高齢者数の推計は、全市と同様の推計方法により圏域ごとに推計した後、圏域ごとの高齢者数の推計の構成比に基づき全市の高齢者数の推計を按分して求めた。

### (3) 日常生活圏域ごとの高齢化率の推移と推計

日常生活圏域ごとの高齢化率の推移について、平成29年は、東部圏域が43.2%と最も高く、次いで西部圏域の42.5%となっています。一方、最も高齢化率が低い北部圏域は26.6%と、全国の高齢化率<sup>1</sup>(27.3%)と比較しても低い割合となっています。

平成30年以降は、全ての圏域で高齢化率が上昇し、平成32年には東部圏域で47.2%になると予測されます。

また、平成37年には東部圏域が52.1%と最も高く、次いで、西部圏域が46.2%と高い高齢化率になると予測されます。

日常生活圏域ごとの高齢化率の推移

[%]

区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
西部	34.4	34.9	35.1	36.1	37.4	38.9	39.9	41.3	42.5
中央部第1	31.2	31.4	31.8	32.7	33.6	34.6	35.5	36.5	37.1
中央部第2	26.6	27.0	27.4	28.4	29.0	30.2	31.3	32.1	32.8
東央部第1	29.1	29.3	29.8	30.8	31.9	33.0	34.2	35.0	36.1
東央部第2	27.9	28.9	29.7	31.1	32.8	34.3	36.1	37.5	38.5
北東部第1	25.9	26.4	27.0	28.0	29.1	30.4	31.3	32.0	32.6
北東部第2	20.6	21.1	21.6	22.6	23.6	25.0	26.1	26.9	27.7
北東部第3	23.0	23.6	24.1	25.5	26.9	28.5	30.1	31.3	32.4
北部	21.6	21.8	22.0	22.7	23.5	24.3	25.1	25.9	26.6
東部	33.5	33.9	34.5	35.3	36.6	38.2	39.9	41.7	43.2

\* 住民基本台帳を基に作成（各年9月末日現在。）

\* 平成21～23年は外国人登録を含む

日常生活圏域ごとの高齢化率の推計

[%]

区分	実績		推計				
	平成29年 (A)	平成30年	平成31年	平成32年		平成37年	
				(B)	対平成29年増減 (B-A)	(C)	対平成29年増減 (C-A)
全市	33.7	34.4	35.0	35.5	1.8	37.2	3.5
西部	42.5	43.3	43.8	44.4	1.9	46.2	3.7
中央部第1	37.1	37.6	38.0	38.2	1.1	38.6	1.5
中央部第2	32.8	33.4	34.0	34.5	1.7	36.7	3.9
東央部第1	36.1	36.9	37.4	37.9	1.8	39.6	3.5
東央部第2	38.5	39.5	40.4	41.2	2.7	43.7	5.2
北東部第1	32.6	33.3	33.7	34.0	1.4	35.3	2.7
北東部第2	27.7	28.4	28.9	29.5	1.8	31.4	3.7
北東部第3	32.4	33.5	34.2	34.9	2.5	38.1	5.7
北部	26.6	27.1	27.6	27.9	1.3	28.9	2.3
東部	43.2	44.6	46.1	47.2	4.0	52.1	8.9

<sup>1</sup> 総務省統計局の人口推計（平成28年10月確定値）

#### (4) 日常生活圏域ごとの高齢者世帯の状況

平成 27 年の国勢調査における日常生活圏域ごとの世帯状況は、65 歳以上の高齢者がいる世帯数が最も多いのは、東中部第 1 圏域で 7,108 世帯となっています。

一方、全世帯数に占める割合は、東部圏域が最も高く、7 割近くが高齢者のいる世帯となっており、最も低い北部圏域でも 35.9%と、すべての圏域で 3 世帯に 1 世帯以上が高齢者のいる世帯と、世帯の高齢化が進んでいる状況となっています。

また、高齢者単身世帯の割合は西部圏域が 23.2%と、高齢者夫婦世帯<sup>2</sup>の割合は東部圏域が 15.6%と最も高くなっています。

日常生活圏域ごとの高齢者世帯の状況

区分	全世帯数 (A)	65歳以上の親族がいる世帯数(B)					
		高年齢者単身世帯数(C)		高年齢者夫婦世帯数(D)			
		(B/A)	(C/A)	(D/A)	(D/A)		
西部	9,232	5,073	55.0%	2,139	23.2%	1,127	12.2%
中央部第1	12,255	5,888	48.0%	2,638	21.5%	1,193	9.7%
中央部第2	15,160	6,082	40.1%	2,595	17.1%	1,433	9.5%
東中部第1	14,545	7,108	48.9%	2,975	20.5%	1,742	12.0%
東中部第2	10,566	5,651	53.5%	1,695	16.0%	1,589	15.0%
北東部第1	11,308	4,946	43.7%	1,869	16.5%	1,239	11.0%
北東部第2	16,501	6,137	37.2%	1,870	11.3%	1,698	10.3%
北東部第3	14,067	6,572	46.7%	1,737	12.3%	1,899	13.5%
北部	15,259	5,475	35.9%	1,804	11.8%	1,415	9.3%
東部	4,758	3,198	67.2%	826	17.4%	744	15.6%
計	123,651	56,130	45.4%	20,148	16.3%	14,079	11.4%

\* 国勢調査を基に作成（平成 27 年）

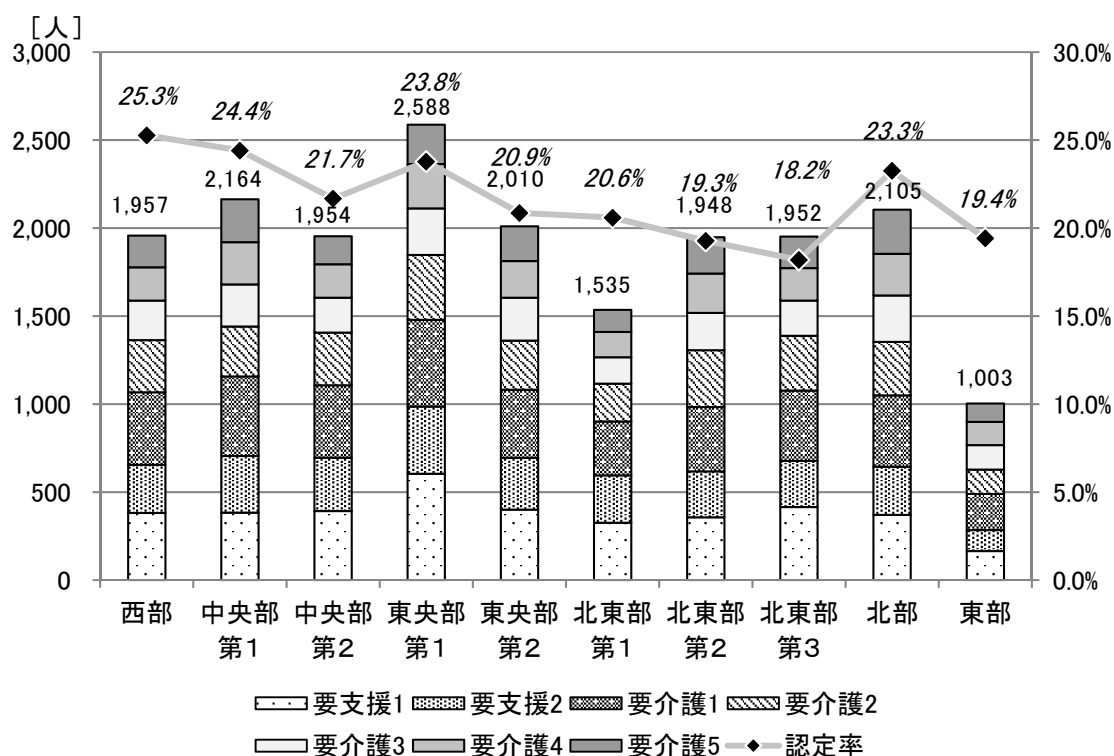
<sup>2</sup> 高齢者夫婦世帯：夫婦とも 65 歳以上の夫婦 1 組のみの一般世帯

### (5) 日常生活圏域ごとの要介護（要支援）認定者数と割合

日常生活圏域ごとの要介護（要支援）認定者数は、高齢者数が最も多い東中央部第1圏域が2,588人と最も多くなっています。

高齢者数に対する認定者数の割合（認定率）をみると、西部圏域が25%を超え、高齢者の4人に1人以上が要介護認定を受けている状況になっています。一方、東部圏域は19.4%と北東部第3圏域、北東部第2圏域に次いで低い値となっており、高齢化率が40%を超える西部圏域と東部圏域<sup>3</sup>の2圏域は、市内でも特に高齢化が進んでいる地域ですが、認定者の割合に差があります。

日常生活圏域ごとの要介護（要支援）認定者数と割合



\* 函館市介護保険システムを基に作成（平成29年9月末日現在）

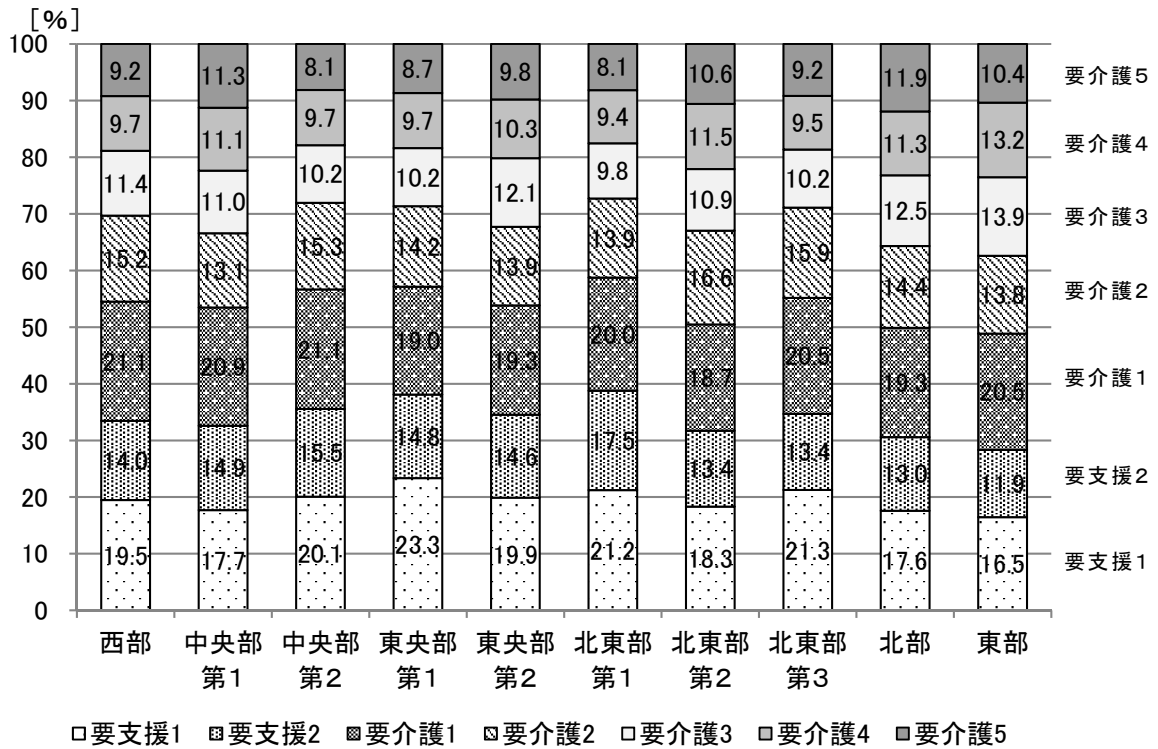
\* 認定者数は函館市の住所地特例対象者数を含まない数値

\* 認定率：高齢者数（平成29年9月末日現在の住民基本台帳）に対する認定者数（第2号被保険者を含む）の割合

<sup>3</sup> 高齢化率は西部圏域42.5%，東部圏域43.2%（平成29年9月末日現在）

日常生活圏域ごとの要介護度の割合は、要支援1から要介護1までの軽度の割合が概ね50%以上となっています。

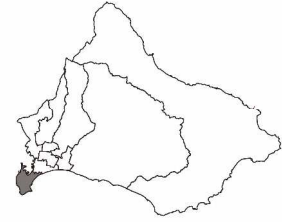
日常生活圏域ごとの介護度別の割合



\* 函館市介護保険システムを基に作成（平成29年9月末日現在）

(6) 日常生活圏域ごとの現状

ア 西部圏域



西部圏域の平成29年9月末日現在の人口は18,204人と10圏域の中で2番目に少なく、近年は減少傾向にあります。一方、高齢者数は、7,743人（圏域中8番目）で、高齢化率は42.5%と市内で2番目に高い割合となっています。

また、介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）を見ても、25.3%と市内で最も高い割合となっています。

地域密着型サービスなどのサービス資源については、地域密着型特定施設（定員29人）1施設、地域密着型介護老人福祉施設（定員29人）1施設が、第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）で整備されました。

[人, %]

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	18,204
高齢者数	B	7,743
高齢化率	B/A	42.5
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
(平成29年9月末日現在)。

[人, %]

要介護認定者数・認定率	
要支援1	381
要支援2	274
要介護1	412
要介護2	297
要介護3	224
要介護4	189
要介護5	180
計	C
認定率	C/B
全市平均認定率	22.0

\* 函館市介護保険システムに基づく(平成29年9月末日現在)。

\* 認定率: 高齢者数に対する認定者数の割合。

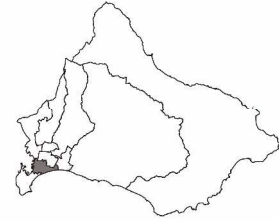
[か所, 人]

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
(ブランチ)	0	-
居宅介護支援	9	-
居宅サービス	28	335
訪問介護	7	-
訪問入浴介護	0	-
訪問看護	2	-
訪問リハビリテーション	2	-
通所介護	5	175
通所リハビリテーション	2	65
短期入所生活介護	1	38
短期入所療養介護	2	15
福祉用具貸与	3	-
特定福祉用具販売	3	-
特定施設入居者生活介護	1	42
地域密着型サービス	11	224
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	2	23
認知症対応型通所介護	2	24
小規模多機能型居宅介護	0	0
認知症対応型共同生活介護	3	90
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	29
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	29
看護小規模多機能型居宅介護	1	29
施設サービス	3	270
介護老人福祉施設	0	0
介護老人保健施設	1	150
介護療養型医療施設	2	120
合計	52	829

\* 平成29年10月1日現在

\* ショート(療養)のうち1事業所は空床利用

## イ 中央部第1圏域



中央部第1圏域の平成29年9月末日現在の人口は23,902人（10圏域中7番目）で、近年は減少傾向にあります。また、高齢者数は、8,865人（10圏域中7番目）で、高齢化率は37.1%と10圏域の中で4番目に高い割合となっています。

一方、介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）は、24.4%と市内で2番目に高い割合となっています。

サービス資源については、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や特定施設、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）などが整備されています。また、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（定員48人）1施設が、第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）で整備されました。

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	23,902
高齢者数	B	8,865
高齢化率	B/A	37.1
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
（平成29年9月末日現在）。

要介護認定者数・認定率	
要支援1	383
要支援2	322
要介護1	452
要介護2	284
要介護3	239
要介護4	240
要介護5	244
計	C
認定率	C/B
全市平均認定率	22.0

\* 函館市介護保険システムに基づく（平成29年9月末日現在）。

\* 認定率：高齢者数に対する認定者数の割合。

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
〔（ブランチ）〕	0	-
居宅介護支援	16	-
居宅サービス	35	375
訪問介護	11	-
訪問入浴介護	0	-
訪問看護	2	-
訪問リハビリテーション	1	-
通所介護	6	190
通所リハビリテーション	1	30
短期入所生活介護	4	49
短期入所療養介護	0	0
福祉用具貸与	4	-
特定福祉用具販売	3	-
特定施設入居者生活介護	3	106
地域密着型サービス	17	282
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	3	43
認知症対応型通所介護	1	12
小規模多機能型居宅介護	3	72
認知症対応型共同生活介護	7	126
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	29
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0
看護小規模多機能型居宅介護	0	0
施設サービス	4	294
介護老人福祉施設	3	258
介護老人保健施設	0	0
介護療養型医療施設	1	36
合計	73	951

\* 平成29年10月1日現在



## ウ 中央部第2圏域



中央部第2圏域の平成29年9月末日現在の人口は27,493人（10圏域中5番目）で、近年は減少傾向となっています。また、高齢者数は9,014人（10圏域中6番目）で、高齢化率は32.8%（10圏域中6番目）となっています。

介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）は、21.7%（10圏域中5番目）となっています。

サービス資源については、特定施設1施設のほか、地域密着型サービスの認知症対応型共同生活介護（グループホーム）や小規模多機能型居宅介護、地域密着型特定施設が整備されており、地域密着型特定施設（定員29人）1施設が第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）で整備されました。

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	27,493
高齢者数	B	9,014
高齢化率	B/A	32.8
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
(平成29年9月末日現在)。

要介護認定者数・認定率		
要支援1		392
要支援2		303
要介護1		412
要介護2		299
要介護3		199
要介護4		190
要介護5		159
計	C	1,954
認定率	C/B	21.7
全市平均認定率		22.0

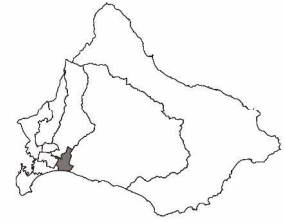
\* 函館市介護保険システムに基づく(平成29年9月末日現在)。

\* 認定率: 高齢者数に対する認定者数の割合。

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
〔ブランチ〕	0	-
居宅介護支援	11	-
居宅サービス	39	279
訪問介護	13	-
訪問入浴介護	0	-
訪問看護	3	-
訪問リハビリテーション	4	-
通所介護	4	99
通所リハビリテーション	2	40
短期入所生活介護	2	44
短期入所療養介護	0	0
福祉用具貸与	5	-
特定福祉用具販売	5	-
特定施設入居者生活介護	1	96
地域密着型サービス	18	302
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	6	76
認知症対応型通所介護	0	0
小規模多機能型居宅介護	3	78
認知症対応型共同生活介護	6	90
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	58
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0
看護小規模多機能型居宅介護	0	0
施設サービス	0	0
介護老人福祉施設	0	0
介護老人保健施設	0	0
介護療養型医療施設	0	0
合計	69	581

\* 平成29年10月1日現在

## エ 東中部第1圏域



東中部第1圏域の平成29年9月末日現在の人口は30,159人（10圏域中4番目）で、近年は減少傾向にあります。また、高齢者数は10,881人と10圏域の中で最も多くなっていますが、高齢化率は36.1%（10圏域中5番目）となっています。

介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）は、23.8%（10圏域中3番目）となっています。

地域密着型サービスなどのサービス資源については、介護老人保健施設や認知症対応型共同生活介護（グループホーム）が整備されていますが、日吉町4丁目の福祉コミュニティエリアにおいて、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（定員100人）1施設、地域密着型介護老人福祉施設（定員29人）1施設、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）（定員18人）2施設、地域密着型特定施設（定員29人）2施設が、平成29年度中の開設を予定しています。

[人, %]

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	30,159
高齢者数	B	10,881
高齢化率	B/A	36.1
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
(平成29年9月末日現在)。

[人, %]

要介護認定者数・認定率	
要支援1	604
要支援2	382
要介護1	493
要介護2	368
要介護3	265
要介護4	252
要介護5	224
計	C 2,588
認定率	C/B 23.8
全市平均認定率	22.0

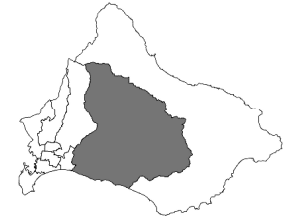
\* 函館市介護保険システムに基づく(平成29年9月末日現在)。  
\* 認定率: 高齢者数に対する認定者数の割合。

[か所, 人]

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
（ブランチ）	0	-
居宅介護支援	10	-
居宅サービス	33	466
訪問介護	12	-
訪問入浴介護	0	-
訪問看護	2	-
訪問リハビリテーション	1	-
通所介護	8	283
通所リハビリテーション	3	87
短期入所生活介護	2	40
短期入所療養介護	2	8
福祉用具貸与	1	-
特定福祉用具販売	1	-
特定施設入居者生活介護	1	48
地域密着型サービス	17	276
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	6	78
認知症対応型通所介護	0	0
小規模多機能型居宅介護	2	50
認知症対応型共同生活介護	5	90
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	58
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0
看護小規模多機能型居宅介護	0	0
施設サービス	2	250
介護老人福祉施設	0	0
介護老人保健施設	2	250
介護療養型医療施設	0	0
合計	63	992

\* 平成29年10月1日現在  
\* ショート(療養)のうち1事業所は空床利用

## オ 東中部第2圏域



東中部第2圏域の平成29年9月末日現在の人口は25,007人（10圏域中6番目）で、近年は減少傾向にあります。また、高齢者数は9,634人で10圏域中4番目、高齢化率は38.5%で10圏域中3番目となっています。

介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）は、20.9%（10圏域中6番目）となっています。

サービス資源については、比較的整備が進んでおり、地域密着型介護老人福祉施設（定員29人）1施設と、看護小規模多機能型居宅介護を併設した認知症対応型共同生活介護（グループホーム）（定員18人）1施設が第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）で整備されました。

[人, %]		
人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	25,007
高齢者数	B	9,634
高齢化率	B/A	38.5
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
(平成29年9月末日現在)。

[人, %]		
要介護認定者数・認定率		
要支援1		400
要支援2		294
要介護1		388
要介護2		279
要介護3		244
要介護4		208
要介護5		197
計	C	2,010
認定率	C/B	20.9
全市平均認定率		22.0

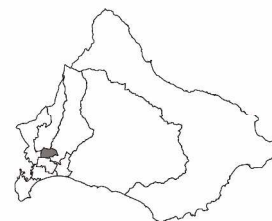
\* 函館市介護保険システムに基づく(平成29年9月末日現在)。

\* 認定率: 高齢者数に対する認定者数の割合。

[か所, 人]		
サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
〔(ブランチ)〕	0	-
居宅介護支援	9	-
居宅サービス	22	556
訪問介護	5	-
訪問入浴介護	1	-
訪問看護	1	-
訪問リハビリテーション	0	-
通所介護	5	195
通所リハビリテーション	0	0
短期入所生活介護	6	91
短期入所療養介護	0	0
福祉用具貸与	1	-
特定福祉用具販売	1	-
特定施設入居者生活介護	2	270
地域密着型サービス	10	193
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	2	24
認知症対応型通所介護	0	0
小規模多機能型居宅介護	1	25
認知症対応型共同生活介護	5	90
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	29
看護小規模多機能型居宅介護	1	25
施設サービス	4	333
介護老人福祉施設	4	333
介護老人保健施設	0	0
介護療養型医療施設	0	0
合計	46	1,082

\* 平成29年10月1日現在

## カ 北東部第1圏域



北東部第1圏域の平成29年9月末日現在の人口は、22,837人（10圏域中8番目）で、近年は減少傾向にあり、高齢者数については、7,452人と2番目に少なく、高齢化率は32.6%（10圏域中7番目）となっています。

また、介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）は、20.6%（10圏域中7番目）と全市平均を下回っています。

地域密着型サービスについては、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）（定員18人）1施設が第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）で整備されました。

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	22,837
高齢者数	B	7,452
高齢化率	B/A	32.6
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
（平成29年9月末日現在）。

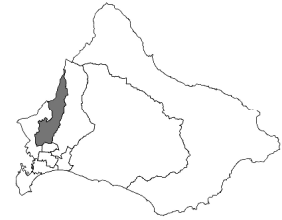
要介護認定者数・認定率	
要支援1	326
要支援2	269
要介護1	307
要介護2	214
要介護3	150
要介護4	144
要介護5	125
計	C
認定率	C/B
全市平均認定率	22.0

\* 函館市介護保険システムに基づく（平成29年9月末日現在）。  
\* 認定率：高齢者数に対する認定者数の割合。

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
（ブランチ）	0	-
居宅介護支援	8	-
居宅サービス	24	253
訪問介護	10	-
訪問入浴介護	1	-
訪問看護	2	-
訪問リハビリテーション	2	-
通所介護	3	125
通所リハビリテーション	2	50
短期入所生活介護	0	0
短期入所療養介護	0	0
福祉用具貸与	1	-
特定福祉用具販売	1	-
特定施設入居者生活介護	2	78
地域密着型サービス	10	120
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	4	40
認知症対応型通所介護	0	0
小規模多機能型居宅介護	0	0
認知症対応型共同生活介護	5	80
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0
看護小規模多機能型居宅介護	0	0
施設サービス	0	0
介護老人福祉施設	0	0
介護老人保健施設	0	0
介護療養型医療施設	0	0
合計	43	373

\* 平成29年10月1日現在

## キ 北東部第2圏域



北東部第2圏域の平成29年9月末日現在の人口は、36,456人と10圏域の中で最も多くなっていますが、近年は減少傾向にあります。高齢者数については、10,106人と10圏域の中で3番目に多くなっていますが、高齢化率は27.7%と、北部地区に次いで2番目に低い割合となっています。

また、介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）は、19.3%（10圏域中9番目）と全市平均を下回る低い割合となっています。

サービス資源については、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設などの介護保険施設のほか、地域密着型介護老人福祉施設や地域密着型特定施設、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）などが整備されており、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）（定員18人）1施設と地域密着型特定施設（定員29人）1施設が第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）で整備されました。

[人, %]

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	36,456
高齢者数	B	10,106
高齢化率	B/A	27.7
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
(平成29年9月末日現在)。

[人, %]

要介護認定者数・認定率	
要支援1	357
要支援2	261
要介護1	365
要介護2	323
要介護3	212
要介護4	224
要介護5	206
計	C 1,948
認定率	C/B 19.3
全市平均認定率	22.0

\* 函館市介護保険システムに基づく(平成29年9月末日現在)。  
\* 認定率: 高齢者数に対する認定者数の割合。

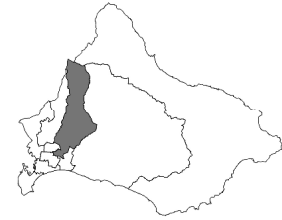
[か所, 人]

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
〔(ランチ)〕	0	-
居宅介護支援	13	-
居宅サービス	43	456
訪問介護	9	-
訪問入浴介護	2	-
訪問看護	4	-
訪問リハビリテーション	2	-
通所介護	5	183
通所リハビリテーション	4	110
短期入所生活介護	7	153
短期入所療養介護	2	10
福祉用具貸与	4	-
特定福祉用具販売	4	-
特定施設入居者生活介護	0	0
地域密着型サービス	20	316
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-
夜間対応型訪問介護	1	-
地域密着型通所介護	5	58
認知症対応型通所介護	1	12
小規模多機能型居宅介護	2	43
認知症対応型共同生活介護	4	71
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	87
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	20
看護小規模多機能型居宅介護	1	25
施設サービス	5	366
介護老人福祉施設	2	140
介護老人保健施設	2	200
介護療養型医療施設	1	26
合計	82	1,138

\* 平成29年10月1日現在

\* ショート(療養)のうち1事業所は空床利用

## ク 北東部第3圏域



北東部第3圏域の平成29年9月末日現在の人口は、33,056人と10圏域の中で3番目に多く、高齢者数は10,726人と10圏域の中で2番目に多い人数となっていますが、高齢化率は32.4%と10圏域の中では3番目に低い割合となっています。

また、介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）も、18.2%と市内で最も低い割合となっています。

地域密着型サービスなどのサービス資源については、介護老人保健施設と特定施設が1施設ずつと認知症対応型共同生活介護（グループホーム）が3施設整備されていますが、他の圏域と比較して利用できる資源が少なく、事業所自体が存在しないサービスも少なくありません。

[人, %]

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	33,056
高齢者数	B	10,726
高齢化率	B/A	32.4
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
(平成29年9月末日現在)。

[人, %]

要介護認定者数・認定率	
要支援1	415
要支援2	262
要介護1	400
要介護2	311
要介護3	200
要介護4	185
要介護5	179
計	C
認定率	C/B
全市平均認定率	22.0

\* 函館市介護保険システムに基づく(平成29年9月末日現在)。

\* 認定率: 高齢者数に対する認定者数の割合。

[か所, 人]

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
(ブランチ)	0	-
居宅介護支援	5	-
居宅サービス	16	223
訪問介護	5	-
訪問入浴介護	0	-
訪問看護	1	-
訪問リハビリテーション	0	-
通所介護	2	65
通所リハビリテーション	1	45
短期入所生活介護	2	39
短期入所療養介護	1	10
福祉用具貸与	1	-
特定福祉用具販売	2	-
特定施設入居者生活介護	1	64
地域密着型サービス	9	149
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	3	46
認知症対応型通所介護	0	0
小規模多機能型居宅介護	2	58
認知症対応型共同生活介護	3	45
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0
看護小規模多機能型居宅介護	0	0
施設サービス	1	100
介護老人福祉施設	0	0
介護老人保健施設	1	100
介護療養型医療施設	0	0
合計	32	472

\* 平成29年10月1日現在

## ケ 北部圏域



北部圏域の平成29年9月末日現在の人口は、34,029人と10圏域中2番目に多く、市内で唯一、人口を維持しており、高齢者数は9,050人（10圏域中5番目）で、高齢化率は26.6%と全国、全道の平均も下回り、10圏域の中で最も低い割合となっています。

また、介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）は、23.3%（10圏域中4番目）となっています。

サービス資源については、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（定員60人、定員100人）2施設が第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）で整備されました。

[人, %]

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	34,029
高齢者数	B	9,050
高齢化率	B/A	26.6
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
(平成29年9月末日現在)。

[人, %]

要介護認定者数・認定率	
要支援1	370
要支援2	274
要介護1	406
要介護2	304
要介護3	263
要介護4	237
要介護5	251
計	C
認定率	C/B
全市平均認定率	22.0

\* 函館市介護保険システムに基づく(平成29年9月末日現在)。  
\* 認定率: 高齢者数に対する認定者数の割合。

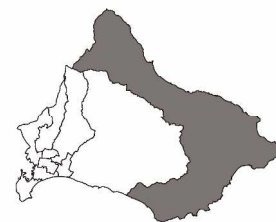
[か所, 人]

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
〔ブランチ〕	0	-
居宅介護支援	23	-
居宅サービス	47	731
訪問介護	9	-
訪問入浴介護	1	-
訪問看護	3	-
訪問リハビリテーション	3	-
通所介護	11	384
通所リハビリテーション	2	80
短期入所生活介護	5	87
短期入所療養介護	3	10
福祉用具貸与	4	-
特定福祉用具販売	4	-
特定施設入居者生活介護	2	170
地域密着型サービス	19	390
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	3	43
認知症対応型通所介護	1	3
小規模多機能型居宅介護	4	91
認知症対応型共同生活介護	5	108
地域密着型特定施設入居者生活介護	4	116
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	29
看護小規模多機能型居宅介護	0	0
施設サービス	8	806
介護老人福祉施設	4	370
介護老人保健施設	3	384
介護療養型医療施設	1	52
合計	98	1,927

\* 平成29年10月1日現在

\* ショート(療養)のうち2事業所は空床利用

## コ 東部圏域



東部圏域は平成29年9月末日現在、人口は11,958人、高齢者数は5,164人といずれも10圏域の中で最も少ない状況ですが、高齢化率は43.2%と10圏域の中で最も高い割合となっています。

一方、介護保険の認定者数の割合（高齢者数に対する認定率）は、19.4%と10圏域の中で3番目に低い割合となっています。

地域密着型サービスなどのサービス資源については、他の圏域と比較して利用できる資源が少なく、事業所自体が存在しないサービスも少なくありませんが、第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）において、中重度の要介護者を受け入れる態勢を確保するため、生活支援ハウス（定員17人）が特定施設（定員18人）に転換されました。

人口・高齢者数・高齢化率		
人口	A	11,958
高齢者数	B	5,164
高齢化率	B/A	43.2
全市平均高齢化率		33.7

\* 住民基本台帳に基づく  
(平成29年9月末日現在)。

要介護認定者数・認定率	
要支援1	165
要支援2	119
要介護1	206
要介護2	138
要介護3	139
要介護4	132
要介護5	104
計	C
認定率	C/B
全市平均認定率	22.0

\* 函館市介護保険システムに基づく(平成29年9月末日現在)。

\* 認定率: 高齢者数に対する認定者数の割合。

サービス種類別事業所数・定員数		
事業所種別	事業所数	定員数
地域包括支援センター	1	-
(ブランチ)	(1)	-
居宅介護支援	3	-
居宅サービス	11	97
訪問介護	3	-
訪問入浴介護	1	-
訪問看護	0	-
訪問リハビリテーション	0	-
通所介護	3	65
通所リハビリテーション	0	0
短期入所生活介護	3	14
短期入所療養介護	0	0
福祉用具貸与	0	-
特定福祉用具販売	0	-
特定施設入居者生活介護	1	18
地域密着型サービス	8	188
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	-
夜間対応型訪問介護	0	-
地域密着型通所介護	1	18
認知症対応型通所介護	0	0
小規模多機能型居宅介護	3	87
認知症対応型共同生活介護	3	54
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0
看護小規模多機能型居宅介護	1	29
施設サービス	3	150
介護老人福祉施設	3	150
介護老人保健施設	0	0
介護療養型医療施設	0	0
合計	26	435

\* 平成29年10月1日現在